



At the Centenary of Kinema Junpo Magazine

The Works of Yuji Miyazaki, Illustrator for Films

映画イラストレーター 宮崎祐治の仕事

展覧会 キネマ旬報創刊1000年記念



2019.4.23(火) ▶▶▶ 8.25(日)

*月曜日は休室です。

国立映画アーカイブ 展示室(7階)

開室時間：午前11時～午後6時30分(入室は午後6時まで)

*毎月末の金曜日のみ開室時間を午後8時まで延長いたします。(入室は午後7時30分まで)

料金：一般250円(200円)／大学生130円(60円)／シニア、高校生以下及び18歳未満、障害者(付添者は原則1名まで)、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料

*料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。

*()内は20名以上の団体料金です。

*学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方はそれぞれ入室の際、証明できるものをご提示ください。

*国立映画アーカイブの上映観覧券(観覧後の半券可)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。

*2019年5月18日(土)「国際博物館の日(毎年5月18日)」は、無料でご覧いただけます。

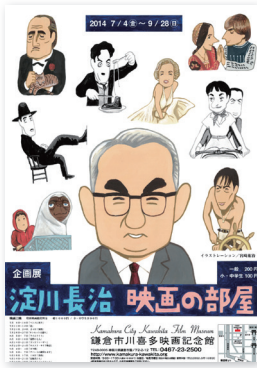
主催：国立映画アーカイブ／特別協力：宮崎祐治／協力：株式会社キネマ旬報社
ホームページ：www.nfaj.go.jp



映画を残す。映画を活かす。

国立映画アーカイブ
National Film Archive of Japan

映画イラストレーター宮崎祐治の軌跡をたどる、初の本格的な展覧会!



上左：文芸坐・文芸地下劇場「第7回陽のあたる名画祭」ポスター（1980年）
 上右：鎌倉市川喜多映画記念館「企画展 淀川長治 映画の部屋」ポスター（2014年）
 左：ラビュタ阿佐ヶ谷「東京映画地図」ポスター〔デザイン：須川理瑛〕（2015年）



ジョン・フォードとジョン・ウェイン「CALENDAR 1996 CINEMA 101 DIRECTORS」表紙より（1995年）

National Film Archive of Japan is proud to present the endearing illustrations of Yuji Miyazaki. Miyazaki has been an illustrator for more than 40 years, with much of his work appearing in *Kinema Junpo*, a film magazine that is celebrating its centenary in 2019.

Miyazaki's illustrations have appeared in all manner of things concerning the cinema. While doing his main job as a director of television commercials and programs, he has continued to illustrate for numerous film magazines as well as calendars, books, posters, and even movie theater walls. His works are familiar to many movie enthusiasts. His caricatures of personalities and depictions of movie scenes from films of the past and present, and of Japan and elsewhere, are drawn in a deformed style with unique sensitivities. They are sometimes humorous, sometimes serious. His addition of handwritten comments on his illustrations further enhances their appeal. Moreover, his descriptions of film shootings, which reflect his experience as a TV director, and his various "Eiga Chizu" (film map) works, which he prepared with meticulous investigation of the relationship between place and film, are unparalleled resources. Every fan of film in Japan has undoubtedly seen his work somewhere.

In this exhibit, which is being held with Miyazaki's full cooperation, we present treasurable posters from early in his career and even some unreleased works. Many of the illustrations shown are originals. The assembled items provide a comprehensive look at works that embody Miyazaki's love of film.



『めし』（1951年）の原節子「KINEMA CALENDAR 2015」用原画（2014年）

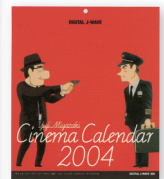
左：「東京映画地図 46 巣鴨」原画【一部】（2015年）
 右：「映画街路図 93」【一部】「キネマ旬報」1994年2月下旬号

国立映画アーカイブでは、2019年に創刊100年を迎える「キネマ旬報」誌を中心に、これまで40年以上にわたって活躍してきた宮崎祐治氏の魅力的なイラストレーションを紹介する展覧会を開催いたします。

その作品は、映画をめぐるありとあらゆる場所に顔を出してきました。テレビのCMや番組のディレクターという本業の傍ら、数々の映画雑誌はもちろん、カレンダーや書籍の装丁、ポスター、果ては映画館の壁面に至るまで描き続けてきたその仕事は多くの映画ファンに親しまれてきました。ユニークな感性でデフォルメされた国内外、新旧の映画人たちの似顔絵や映画のシーンは、時にユーモラスであり、時にはシリアスでもあり、そこに添えられた手書き文字のコメントも一層の魅力を与えています。さらに、ディレクター経験が活かされた撮影現場のルポルタージュや、土地と映画のかかわりを丹念に調査してまとめた「映画地図」では他の追随を許さない境地を見せています。日本の熱心な映画ファンであれば、その絵には必ずや見覚えがあるはずです。本展覧会では作家の全面的な協力をいただき、原画を中心に、初期の貴重なポスターや未発表作品も交えて、映画への愛にあふれたその画業を総合的にご紹介します。



左：江藤努編『映画イヤーブック 1995』(1995年) 右：原田雅昭、進藤良彦編『映画ガイドブック 2001』(2001年)



左：「CALENDAR 1995: CINEMA 100」より5月（1994年）
 上：「Cinema Calendar 2004」表紙（2003年）

アーティスト・トーク

- 5.18 (土) 対談ゲスト：渡辺祥子氏（映画評論家）
- 6.15 (土) 対談ゲスト：前野裕一氏（「キネマ旬報」編集者）
- 7.27 (土) 対談ゲスト：金子修介氏（映画監督）
- 8.17 (土) トーク：宮崎祐治氏

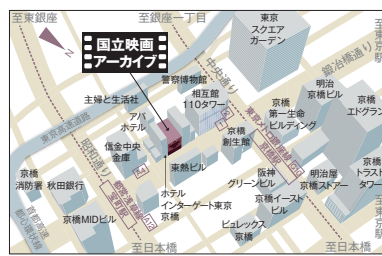
※詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします。

宮崎祐治（みやざき・ゆうじ）

1955年東京都調布市生まれ。武蔵野美術大学造形学部在学中の1975年に「キネマ旬報」誌への投稿をきっかけに、映画イラストレーションを発表するようになる。卒業後は映像制作会社でテレビのCMや番組のディレクターとなり、併せて「キネマ旬報」誌をはじめとする数々の映画雑誌や書籍、カレンダーやポスターなどに作品を発表し、映画イラストレーターとして独自の地位を確立する。「キネマ旬報」決算特別号に毎年掲載される「映画街路図」は今年で43回目を迎えた。2016年度日本映画ペンクラブ奨励賞受賞。著書に『東京映画地図』（キネマ旬報社、2016年）、『鎌倉映画地図』（鎌倉市川喜多映画記念館、2017年）など。



長瀬映像文化財団
 お問い合わせ（ハローダイヤル）
 03-5777-8600
 ホームページ
 www.nfaj.go.jp
 Twitter: @NFAJ_PR Facebook: NFAJPR
 Instagram: nationalfilmarchiveofjapan



〒104-0031
 東京都中央区京橋 3-7-6
交通
 ⇒ 東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
 ⇒ 都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
 ⇒ 東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口Aより徒歩5分
 ⇒ JR 東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分